

女性の視点で地域づくり

ふるさとを興す研究大会

名瀬市

女性のまちづくり参画で
意見交換した市女性団体
研究大会

「生かしてほしい」とあい
さつした。

聖徳大学生産学習研究
所所長の福留強教授が
「地域を輝く女性たち」の
演題で講演した。福留教
授は従来、役所の仕事と

の認識があった「まちづ
くり」はもはや大人も子
供もかわることができ
るとし、地元食材を使っ
た特産品で成功した女性
起業家など市民が地域の
核として活躍する全国の
例を紹介。

子育てを終えた世代は
生きがい無くすこと
が多いものの、「女性は
地域のセンサー。高齢で
はなく『創年』として自
分の力を世の中に還元
してほしい」と積極的な

まちづくり参画を促し
た。

このほか教授が提案し
全国に広まりつつあるコ
ミュニケーション空間
「創年のたまり場」につ
いては、人も魅力の一つ。
女性にしかできないきめ
細やかな心配りが大切
とした。

シンポジウムでも地元
内外からパネリストを招
いて引き続き意見交換し
た。

「第一回ふるさとを興
す名瀬市女性団体研究大
会」(同市、市教育委員
会、同実行員会主催)が
六日、市中央公民館であ
り、「地域に生かす女性
の力」女性はまちづくりに
どのように参画できる
か」をテーマに女性の視
点から見た豊かな地域づ
くりを迫った。

大会は市地域女性団体
連絡協議会主催で行って
きた昨年度までの大会を
発展的に解消し、今年度
から市内多数の女性団体
からなる実行委員会を組
織して開催した。約三百
人が出席した。

開会行事で川田清子実
行委員長は「大会から多
くを学び、それぞれの団
体や地域でまちづくりに